



**Daiwa House**  
Group

報道関係各位

N e w s R e l e a s e

2022年3月14日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 芳井敬一  
大阪市北区梅田 3-3-5

## ● 2棟で構成する沖縄県最大の物流施設開発プロジェクト マルチテナント型物流施設「DPL沖縄豊見城」竣工

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、沖縄県豊見城市において2棟で構成する沖縄県最大※1の物流施設開発プロジェクトを進めていますが、北側に位置する物流施設「DPL沖縄豊見城」が2022年3月14日に竣工しましたので、お知らせします。

なお、南側に位置する「DPL沖縄豊見城Ⅱ」は2022年9月に竣工します。

※1. 「DPL沖縄豊見城」「DPL沖縄豊見城Ⅱ」をあわせた延床面積で沖縄県最大となります。



「DPL沖縄豊見城」

※写真の一部は加工しています。

沖縄県は東アジアの中心に位置し、那覇空港は、国内だけでなくアジア主要都市との国際貨物ハブとして重要な役割を担っています。

沖縄振興開発金融公庫が2021年3月に公表した「公庫レポート 沖縄県内の物流需給バランスの現状と将来推計について」によると、沖縄県は貨物の取扱量が増加傾向にあり、那覇市近郊では倉庫数も増加していますが、旺盛な需要により、倉庫の空室率は低水準で推移しています。

そのような中、当社では、複数の企業が入居できるマルチテナント型物流施設として、最大13社が入居できる「DPL沖縄豊見城」および「DPL沖縄豊見城Ⅱ」を開発することとしましたが、このたび「DPL沖縄豊見城」が竣工しました。

### ●ポイント

1. 沖縄県最大のマルチテナント型物流施設
2. テナント企業の職場環境整備支援として保育施設を併設（予定）
3. 4温度帯での管理を可能にすることで食品物流にも対応
4. グローバルサプライチェーンにも適した好アクセスの立地

## 1. 沖縄県最大のマルチテナント型物流施設

「DPL 沖縄豊見城」ならびに「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」は、マルチテナント型物流施設です。

本施設は、沖縄コンベンションセンター約6個分に当たる延床面積約12.2万㎡（DPL 沖縄豊見城：約4万㎡、DPL 沖縄豊見城Ⅱ：約8.2万㎡）となります。貸床面積7,000㎡から入居可能で最大17社（DPL 沖縄豊見城：8社、DPL 沖縄豊見城Ⅱ：9社）のテナント企業に対応できます。

「DPL 沖縄豊見城」は、物流企業など3社※2の入居が決定しています。

※2. 2022年3月14日現在。賃貸面積約87%が契約済で、残り1区画を募集中です。

## 2. 仕事と子育てを両立できるように保育施設を併設（予定）

当施設で働く従業員が仕事と子育てを両立できるよう、「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」内に保育所を設置する予定です。

テナント企業の従業員を対象に、最大100名のお子さまの受け入れができる保育施設を設け、ワーク・ライフ・バランスを支援します。

## 3. 4温度帯での管理を可能にすることで食品物流にも対応

「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」では、冷凍・冷蔵・定温（15～20度）・常温の4温度帯に対応できる物流施設です。これにより、低温加工食品のコールドチェーンで求められる品質・衛生管理が可能になります。

## 4. グローバルサプライチェーンにも適した好アクセスの立地

「DPL 沖縄豊見城」ならびに「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」は、グローバルサプライチェーンにも適する、交通アクセスに優れた好立地にあります。

本物件は、日本を含むアジア主要都市をカバーする利便性の高い沖縄県に位置しており、24時間の通関や深夜の離発着が可能な沖縄那覇空港から約5km、浦添ふ頭から11kmと空運・海運を利用した国際物流拠点としても機能します。また、居住者が増加傾向にある沖縄県豊見城市での開発であり、労働力確保にも適しています。



## ■「DPL 沖縄豊見城」建物概要

名称 : 「DPL 沖縄豊見城」  
所在地 : 沖縄県豊見城市字与根西原 50 番 110 他  
アクセス : 車で那覇空港から 15 分、浦添ふ頭から 30 分  
敷地面積 : 29,762.76 m<sup>2</sup> (9,003.23 坪)  
延床面積 : 39,970.60 m<sup>2</sup> (12,091.10 坪)  
構造・規模 : 鉄骨造 2 階建て  
設計監理 : 浅井謙建築研究所・MP デベロップメント設計共同企業体  
施工会社 : 株式会社大林組  
着工日 : 2021 年 2 月 15 日  
竣工日 : 2022 年 3 月 14 日  
駐車台数 : 乗用車 61 台、軽自動車 80 台、トラック 2 台  
総事業費 : 約 72 億円

## ■「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」建物概要

名称 : 「DPL 沖縄豊見城Ⅱ」  
所在地 : 沖縄県豊見城市字与根西原 50 番 114  
アクセス : 車で那覇空港から 15 分、浦添ふ頭から 30 分  
敷地面積 : 53,292.73 m<sup>2</sup> (16,121.05 坪)  
延床面積 : 82,039.04 m<sup>2</sup> (24,816.79 坪)  
構造・規模 : 鉄骨鉄筋コンクリート造ならびに鉄骨造 3 階建て  
設計監理 : 浅井謙建築研究所・MP デベロップメント設計共同企業体  
施工会社 : 株式会社大林組  
着工日 : 2021 年 6 月 9 日  
竣工日 : 2022 年 9 月 30 日 (予定)  
駐車台数 : 乗用車 272 台、軽自動車 4 台、トラック 8 台  
総事業費 : 約 148 億円  
お客さまお問い合わせ先 : 大和ハウス工業株式会社東京本店建築事業部  
03-5214-2200

## ●当社の物流施設事業

当社の建築事業は、1955 年の創業以来、工業化建築のパイオニアとして製造施設、医療・介護施設、オフィスなどさまざまな事業用建築を手がけるとともに、物流施設 3,000 棟以上を開発してきました。

2002 年以降は、物流施設の設計・施工にとどまらず、物流最適地の提案から維持管理に至るまで、お客さまの事業スキームにあわせた専用の物流施設をコーディネートする独自の物流プロジェクト「D プロジェクト」を開始。不動産や金融など各分野のパートナーを組み合わせ、自社保有・ノンアセット・不動産流動化など物流不動産ソリューションを展開しています。

これまで「D プロジェクト」では、特定企業向けの物流倉庫であるオーダーメイド型の BTS 型物流施設に加え、立地条件の良い場所に複数のテナントが入居可能で短期的な物流ニーズにも迅速に対応できるマルチテナント型を展開し、全国で 317 ヶ所・総延床面積約 1,105 万 m<sup>2</sup>の物流施設の開発を手がけてきました。<sup>※3</sup>

※3. 2021 年 12 月 31 日現在。施工中含む。

以上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112